

科目ナンバリング		U-LAS00 20006 LJ34										
授業科目名 <英訳>		認識人間学II Epistemological Human Studies II					担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 青山 拓央			
群	人文・社会科学科目群			分野(分類)		哲学・思想(各論)			使用言語		日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態		講義（対面授業科目）				
開講年度・ 開講期	2025・後期		曜時限	火4			配当学年	全回生		対象学生	全学向	
（総合人間学部の学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）												
[授業の概要・目的]												
私たちは世界のなかに、事物だけでなく「価値」も見いだします。そして自らの人生が価値あるものであることも欲します。しかし、価値はどのような仕方で存在し、どのような仕方で認識されるのでしょうか。本授業では、「幸福」「善」「美」などのテーマを取り上げ、たんに主観的な幻想ではなく、しかし客観的な物質とも異なる、価値というものの在り方とその認識論上の意味を探ります（その際、おもに分析哲学における様々な知見を参照します）。参考書である『幸福はなぜ哲学の問題になるのか』（太田出版）の一部をブラッシュアップした内容と、他の多くの先行研究について、お話しをする予定です。												
[到達目標]												
おもに分析哲学に関する基礎的な知識を得るとともに、価値と認識との関係について、さまざまな観点から理解を深める。												
[授業計画と内容]												
下記の5つのテーマに沿って、価値と認識との関係を考えます（授業の進行具合に応じて、どのテーマに何週をあてるかを変更する場合があります）。 1. ガイダンス・幸福は哲学の問題になるか（第1週～第2週） 2. 内在的幸福と外在的幸福（第3週～第4週） 3. 分析哲学での「価値」の議論（第5週～第8週） （「幸福」「善」「美」等を検討。） 4. 枚挙的質問と説明的質問（第9週～第10週） 5. 可能世界と価値判断（第11週～第14週） 第16週：フィードバック												
[履修要件]												
特になし												
[成績評価の方法・観点]												
レポートにて成績を評価します。採点基準はやや厳しめで、講義内容を十分に理解しているかと、自分の考えを論理的に説明しているかを中心的に評価します。												
[教科書]												
使用しない												
認識人間学II(2)へ続く ↓ ↓ ↓												

認識人間学II(2)

[参考書等]

(参考書)

青山拓央 『幸福はなぜ哲学の問題になるのか』 (太田出版) ISBN:9784778315351

[授業外学修(予習・復習)等]

授業前の予習はとくに必要ではありませんが、授業後の復習は十分に行なってください。

[その他(オフィスアワー等)]

教室収容人数に応じて、受講者を制限することがあります。授業での積極的な質問・発言を期待します。

[主要授業科目(学部・学科名)]